

輪っしょい!

いちのせき
協働ニュース

vol.25

2021年2月

わっしょい みんな で かつごう いちのせき

コロナ禍でも
安心

車に乗ったまま楽しめる屋外映画会！ 『むろねドライブインシアター』



室愉会メンバーとボランティアスタッフ
ドライブインシアター無事成功！の笑顔



スクリーンの位置を事前に検討



暗闇に巨大なスクリーンが浮かびあがる

室根まちづくり協議会

会長 三浦 幹夫 E-mail murone-machikyo@helen.ocn.ne.jp
HP <https://murone-machikyo.com/> f 室愉会 (ムロユカイ)

【問い合わせ先】
室根まちづくり協議会
(室根市民センター)
電話：0191-64-2347

若者らしさ全開！新しい映画会の形 『むろねドライブインシアター』

室根まちづくり協議会の若者グループ『室根と愉快な仲間たち (通称：室愉会)』は、昨年11月、新しい生活様式に合わせた映画会として、市役所室根支所を会場に『むろねドライブインシアター』を開催しました。

“ドライブインシアター”とは車に乗って映画を観る屋外映画会の事で、音声は車載ラジオを使って受信します。

コロナ禍で従来通りのイベント開催が難しい中、「少しでも地域に開放的な雰囲気のを届けたい！」と企画したドライブインシアター。

当日は、事前に予約を受け付けた25台(62人)の車が来場し、映画を楽しみました。

参加者からは「人との接触を気にすることなく楽しめた」「また開催されるときには参加したい！」と好評でした。

メンバーから一言

私たちは、若者目線で「子ども・子育て世代の交流について」を考えるグループとして、映画イベントや交流イベントなどを行っています。

今回の企画は、コロナ禍で様々な制限がある中で新たに挑戦した事業だったため春先から検討をはじめ、開催までの約7か月間試行錯誤の連続でした。

来場した皆さんには、安心して参加できるイベントとして楽しんでいただくことができましたので、多くの地域で新しいイベントの形として普及したら良いと思います。



会場を知らせるのぼり旗



当日の動きを最終確認

いちのせき協働ニュース
輪っしょい！の
発行にあたって

本紙では、特色ある地域協働の取り組みや、市民センターの「熱い」取り組みなどを紹介します。

*地域協働とは、地域の自治会、消防団やPTAなど各種団体、市民、民間事業者(企業)等の多様な主体が、一定の地域において互いに、又は行政と、地域の特性や課題などを共有した上で、役割分担しながら、地域課題の解決や地域の実情に沿って地域づくりを進めるしくみです。



各地域の協働の取り組み

小梨自治振興協議会

会長 三浦 邦弘

HP

<https://www.facebook.com/konashijichishinkokyogikai/>

【問い合わせ先】
小梨市民センター
電話：0191-52-2496



小梨自治振興協議会は、1992年6月20日に設立し、「みんなが主役！みんなで創ろう！明るく豊かで元気な地域！」をスローガンに掲げ、地域づくりに取り組んでいます。

“てど”の良い作品が盛りだくさん！「秋の文化展」

※“てど”とは？ 腕の良い、器用であることを意味します。

話題の万華鏡



展示準備の様子。風景の地区民祭のようでした。展示

秋の一大イベントである「小梨地区民祭」を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、代替事業として「秋の文化展」を実施しました。

各自治会女性部やサロン、市民センター事業などで取り組んできた手芸作品等多くの作品が展示され、来場者の目を楽しませました。

3密を避けるため2週間の展示期間を設けたところ、200人を超える来場者があり、来場者は色とりどりの作品を眺めたり、折り紙で作った万華鏡を手にとって「きれい～！」「どうやって作るのかな？」などと、関心を示していました。

五訓之森を憩いの場に

旧小梨小学校に隣接する五訓之森で「小梨キッズグラウンドゴルフ大会」を開催しました。

この大会は、「小学校の頃に遊んだ五訓之森で、自分の子どもたちも思いっきり遊ばせたい！」と地域住民有志から協議会に相談があり、準備から当日の運営までを協働で行いました。

当日は、地元の小学生や保育園児らが参加。

自分の背丈と同じくらいのスティックを持ち、狙いを定めて一生懸命ボールを打っていました。初めは戸惑っている様子でしたが、保護者や周りの大人の人達に教えられながら、楽しい時間を過ごしました。



「見てみて！チカラいっぱい！それえ～！」



各地域の協働の取り組み

田河津振興会

会長 岩淵 松雄

E-mail

takosin@echna.ne.jp

【問い合わせ先】
田河津市民センター
電話：0191-47-2349



田河津市民センターの指定管理に向けて

田河津振興会では、今年度、二つの大きな事業に取り組んでいます。

一つ目は、2021年度からの田河津市民センターの指定管理に向けた準備です。

指定管理事業計画をはじめ事務の見直しなど、会の事務事業について、田河津振興会、市民センター、市、いちのせき市民活動センターで組織する指定管理推進連絡調整会議を毎月開催し、指定管理に向けて準備しています。

12月4日には理事会を開催。指定管理に向けての進捗状況や事業計画、財政計画等について協議するなど、着々と準備を進めています。



地域に密着した事業展開を目指します

市民センターを利用する皆さんが、これまで同様に安心して利用できる環境づくりを目指し、職員一丸となって取り組んでいます。

パークゴルフで元気はつらつ！

二つ目は、理事会での「いつでも、誰でも、気軽にスポーツを楽しむことができる場を作りたい」という発案をきっかけに始まった、パークゴルフ場の整備です。

7月に、田河津振興会の構成団体となっている自治会や団体から整備検討メンバーを選出。

田河津パークゴルフ場設置世話人会（佐藤登代表、メンバー19人）を組織しました。

世話人会では、「設計」「施工」「組織づくり」の3チームに分かれ作業に取り組んでおり、10月にはコース設計も終了。地域企業の協力もいただきながら、ホールカップなどの設置作業も完了しました。

パークゴルフを通じて住民同士の交流機会が増え、地域づくりへ繋がることを楽しみにしています。



チームワークで整備を進めています

きらり★輝く

FILE
12

きらりと輝く地域づくりに
取り組んでいる方々や団体等を
ご紹介します。

下大桑ヒツジ飼育者の会

【問い合わせ先】事務局：桂田 勝浩
電話：090-3364-6745
f 下大桑（シモオオクワ）



会員みんなで順番に
エサやりをするなどの
世話をしています

★中山間地の魅力発進！

下大桑ヒツジ飼育者の会は、2016年に活動を開始し、中山間地域の耕作放棄地を利用した国産羊の一大産地化を目指しています。

現在は、岩手県のプロジェクトである、羊毛そのものをブランド化した「i-wool（アイウール）」プロジェクトにも参画。ネクタイやマフラーなどの羊毛製品の販売も始まっています。

会では将来、肉だけでなく毛・皮・骨など、羊の恵みを全て活かした活動を展開することで、地域に新しい産業を構築することを目指しています

仲間を募集
しています！

会の活動やヒツジの飼育に興味のある方は、お気軽に事務局へご連絡ください！

永井地区郷土芸能伝承保存会

【問い合わせ先】事務局：佐藤 正名
電話：0191-84-2557
（永井市民センター内）

★郷土芸能を伝承し、地域へ元気を届けます！

永井地区に存在する郷土芸能を地域の宝として永続的に継承することを目的として、2011年に永井地区郷土芸能伝承保存会を立ち上げ、活動を続けています。

毎週水曜日に永井市民センターで鶏舞と獅子舞、お囃子などを子どもたちに指導しながら、若者には太鼓の叩き方を教えるなど、後継者の育成にも努めています。

永井地区敬老会や永井市民センターまつりで鶏舞を披露しており、お客様の声援が子どもたちの活動の励みになっています。



コロナが落ち着いたら…
出演依頼 待ってます！

コロナに負けずに
頑張ります！

今年はコロナ禍により発表の場が減り普段の練習も十分にできない日々が続いていますが、今できることを精一杯取り組みながら、地域の伝統を守っていききたいと思います。

H28レディース「蓬萊の郷」地域活性化隊

【問い合わせ先】代表：佐藤 真由美
電話：090-7526-2856
f 蓬萊の郷（ホウライノサト）



「ほっこりカフェ」
お花見会

★女性パワーで地域を元気に！！

「地域を元気にしたい！」と2016年に地元の女性有志5人で結成しました。現在は、地元の蓬萊山（通称：よもぎ山）の麓に自生しているよもぎを使った特産品開発等に取り組んでおり、隊員が収穫、下処理したよもぎを使った『よもぎうどん』や『よもぎ茶』は、近隣の産直施設や道の駅でも販売しています。

また、2017年には空き家を改装した「ほっこりカフェ」を開設。毎月第3土曜日に、高齢者の介護予防を目的として、健康体操や創作活動、お茶っこ飲みを開催するなど、精力的に活動しています。

色鮮やかな
「よもぎうどん」



今後の目標

今後も、地域住民を更に巻き込んで、各世代が交流できる居場所作り、みんなが住みやすい、魅力ある地域づくりを目指して活動していきます。よもぎ商品の知名度がまだ低いので、SNS等を活用して多くの方に魅力を発信していきたいです！

あなたの参加が地域づくりへの第一歩。地域への参画を通じて、魅力あるまちづくりを進めていきましょう！

第14回

市民センターの今、ココが熱い!

【問い合わせ先】
川崎市民センター（川崎まちづくり協議会）
電話：0191-43-3112
f 川崎まちづくり協議会

当市民センターは、2021年4月から川崎まちづくり協議会が指定管理者となり、市民センター事業を展開していきます。これまで以上に地域に根ざした活動を展開していきたいと思っています。

今回の「ココ熱」①

川の楽校「夏の課外授業」 おしえて！水のこと！絵のこと

川崎市民センターでは、川崎小学校児童を対象に「川の楽校」を開催しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により実施を見合わせていましたが、8月6日に第1回の事業を行いました。

第1回は「夏の課外授業」と題し、川崎地域内のあれこれをテーマにした社会科と図工の学習を実施。児童12人が参加しました。

1時間目は、薄衣の巻畑地区にある「上巻浄水場」を見学し、施設を管理する(株)水機テクノスの職員の指導で、ペットボトルなどを使った水道設備のミニチュア装置を作成。水道水がどのような工程を経てできるかなどの仕組みについて、楽しく工作しながら学習しました。

2時間目は、1時間目で印象に残ったことや、夏休みの思い出などをテーマに図画に取り組みました。

講師の工房てんとう虫所長 木村静恵さんから「どんどん描いてみて～」と指導を受けながらダイナミックに絵を描き上げ、かつて経験したことがないコロナ禍の制約の中でも、楽しい夏休みの思い出づくりになりました。



集中して図画に取り組む子どもたち



色鮮やかな作品、みんな力作です



みんな、まなざしは真剣

今回の「ココ熱」② 水色ウサキうまく活用塾

昨年念願の着ぐるみが完成した水色ウサキ。

今後より一層、川崎町の地域振興に貢献してもらうにはどのような活動をしていけば良いか、ウサキ本人も交えて話し合いました。

水色ウサキの本家である、山形県朝日町の「桃色ウサビ」の中の人・佐藤さんにアドバイスをいただきながら、まちづくりポストのデザインリニューアルなど、今後の具体的な動きが見えてきました。



自らアドバイスする水色ウサキ



念願のツーショット

今回の「ココ熱」③ ちゃっこいアート展



「わたしはこの写真がいいな～」

2018年7月から市民センターのロビーの一画で行っている「毎月かわるちゃっこいアート展」では、絵や手芸、写真、工作など、様々なジャンルの作品を月替わりで展示しています。

2020年12月には、『川崎の風景』を題材にした写真展を開催。「川崎をこよなく愛する」10人から寄せられた計18点の写真は、川崎地域の四季折々の風景をとらえた素敵な作品ばかりでした。

足を止め、写真を眺めるなかで、川崎地域の魅力を再発見した人も多かったようです。

